



【安心して働き・暮らせる三浦半島地域を目指して！】

課題解決に向け、政策・制度要求と提言を

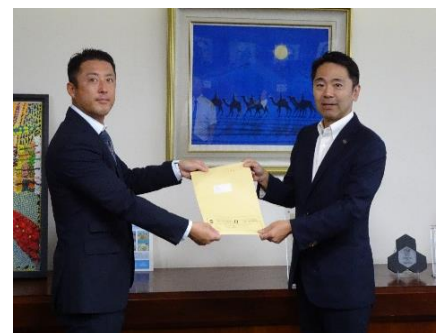
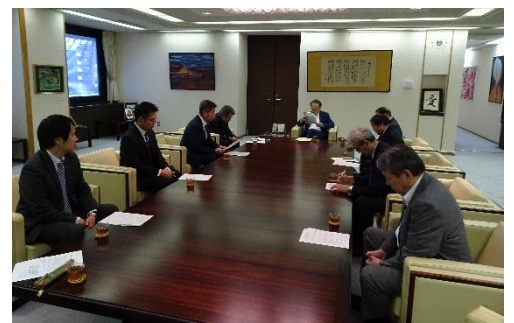
4市1町首長に直接提出！

10月3日（木）に、地域連合五役にて4市1町（鎌倉市・逗子市・葉山町・三浦市・横須賀市）の首長に対して政策制度要求と提言を行うとともに、意見交換を実施しました。

この、政策制度要求と提言は地域連合構成組織より日ごろ感じている、三浦半島での問題や課題について意見収集時に出た事柄や、三浦半島議員団にアドバイスをいただきながら作成し、問題の解決・未来への提言として実施しました。

要求と提言については、4市1町に共通する項目の「統一要求」と各市町における特有の項目の「個別要求」に分けて提出しました。主な項目として、地域活性化策や福祉政策・防災政策・投票率向上など計14項目を列挙し、新規として『バス減便対策』、『134号渋滞対策』などを求めました。また、自治体ごとへの個別要求では、横須賀市・三浦市へは人口減に対応した商店街活性化策や国道357号延伸、鎌倉市へは渋滞対策・深沢新駅について、逗子市には駅前開発・整備、葉山町には三浦半島中央道路北側工区実現などを求めました。また、市町を越えて三浦半島として連携・協力に対する強化についても意見交換を行いました。

今回の要求と提言について、各自治体からは12月末に回答を頂く予定になっています。今後も、三浦半島地域の各自治体との連携を強化して『働くことを軸とした安心社会の実現』に繋げていきます。



【上段左から】

横須賀市：上地 克明 市長

三浦市：吉田 英男 市長

鎌倉市：松尾 崇 市長

【下段左から】

逗子市：桐ヶ谷 覚 市長

葉山町：山梨 崇仁 町長

みんなでキレイな街(三浦海岸駅周辺)づくり! 《222名でクリーンキャンペーン&みかん狩り!》

10月20日(日)10時より京急三浦海岸駅周辺で、三浦半島地域連合・労福協の共催『2024 クリーンキャンペーン&みかん狩り』を行いました。今年で3年目となるクリーンキャンペーン&みかん狩りですが毎年多くの方に参加していただき、今年は222名(児童ホーム39名、OB17名を含む)が参加してくれました。

開催にあたり、主催者を代表して労福協中澤会長・及川地域連合議長が、労働福祉団体(ろうきん横須賀支店長谷川支店長・ろうきん大船支店 土橋支店長・こくみん共済coop 木崎次長)からも挨拶をいただきました。また、地元の三浦市を代表として吉田英男市長も駆けつけていただきクリーンキャンペーン実施について感謝の言葉を述べられました。



拾った後もちゃんと分別



キャンペーン実施に感謝を述べる吉田三浦市市長

当日は、肌寒い中約1時間かけてクリーンキャンペーンを実施し海岸や住宅街のゴミ清掃を行いました。回収したごみは700の袋で10袋を超え短時間でこんなに多く拾えるものかと参加者も驚いていました。清掃が終了後、「やまさみかん園」でみかん狩りを行い、疲れた体を新鮮なみかんのビタミンCで癒していました。今年度は日頃、お付き合いをしている児童施設も招待したところ、2施設で39名参加していただき大変喜んでいました。



甘いミカンは取れたかな?



三浦半島地域連合議員団会議・地域外視察を実施!

三浦半島地域連合議員団が、地域外視察を10月16日から17日にかけて行い、地域連合からも2名の役員を派遣し、議員団10名、合計12名で実施されました。今回は、昨今の異常気象による災害において重要な対応が求められるインフラ設備を担う神奈川県内広域水道企業団との意見交換を行い、生活に欠かせない水を県内に届ける仕組み、管理システムや災害時の備え、今後の計画について、詳細な話を聞くことが出来ました。また、神奈川県議会・県庁を視察し有事の際に設置される災害対策本部の様子や、今後も自然災害の激甚化が予想される中、神奈川県民の命と暮らしを守る取り組みを聞くことが出来ました。



今回の視察は広域連携や災害対策などを中心に学ぶことが出来ましたが、この視察を活かして、三浦半島地域連合の政策・制度要求と提言の充実や実現に議員団との連携を強化して取り組んでいきます。